

●復活節後第四主日

泉のほとり

今日の詩篇「第一一五編」

わたしたちの神は天にいまし

御旨のままにすべてを行われる。



主イエスの羊になろう

主イエスが復活されたとき、弟子のトマスはそれを信じませんでした。それが主だということを手で触って確かめなければ信じないと言ったのです。そのトマスに主は、信じない者にならないで信じる者になりなさい、と言われました。

何か確かな証拠があれば、あるいは特別な体験をすれば信じられる、と思いますが、それは違います。問題は体験や知識の不足ではありません。その人の姿勢が主の方を向いていないのです。

昔、水曜日の老人給食ボランティアで、年配の男性が、お弁当を配達する車の運転をしていました。朝の聖書の会にもたびたび出席して、聖書の話を聞いていました。

その方が重い病気になるので、自宅にお見舞いに行きました。その時にわたしは彼に、主イエスを信じて洗礼を受けませんかと言いました。でも彼は「信じられたらいいのですが」と言うだけで、最後まで受け入れず、それからしばらくして亡くなりました。あの時、もっと他に話しの仕方があったらどうかと、今でも時々思います。

主イエスに背を向けながら「信じられたらいいのですが」と言っているも、何も起こりません。主の方に向き直って「主よ、あなたを信じます」と言うところから、新しい人生が始まるのです。ユダヤ人の指導者も、主を信じませんでした。その彼らに、主は、あなたがたが信じないのは、

わたしの羊でないからだ、と言われます。信じる者になるとは、主イエスの羊になることなのです。

どうしたら主イエスの羊になれるでしょうか。それは主に向かって「あなたの羊になります。どうぞわたしをよい羊にしてください」と言いつて洗礼を受けることです。

洗礼を受けても、外見が全く変わるわけではありません。しかし、主とその人の関係は、全く新しくなります。それまで、飼う者のいない羊だった人が、その日から、主イエスの羊になったのです。主イエスの羊は、羊飼である主イエスの言葉を聞き分け、説教で語られるみ言葉を、心から喜んで聞くようになるのです。

主がこう言われたのは、神殿奉献記念祭の時のことです。昔、シリアの王さまがエルサレムの神殿にギリシャの神々の像を置き、祭壇で豚を献げて神殿を汚しました。ユダヤ人はそれと戦って神殿を取り戻し、清めて、もう一度神さまを礼拝する場所にしました。それを記念するお祭りです。でも神殿は清められましたが、彼らの心の中の神殿には、まだ他の神々が居座っています。だから信じられないのです。

わたしの羊になりなさいと主は言われます。主イエスだけを心の神殿にお迎えして、わたしたちも主の羊になりましょう。

(ヨハネ一〇・二二〜三〇)

祈り

○主の祈りを、そしてわたし共の祈りをも聞き続けていくのださるわたし共の父であるあなたが、いつものようにここに集まることをお求めになりました。わたし共はそれにお応えして、いつものように身縋いをし、ここに集まって参りました。一緒に座ってあなたに祈る仲間たちに会うことができずした。お互いに深く言葉を交わし合うことはなくとも、お互いの無事を喜び、みもとに戻る安らかな思いをもつてここに集ることができました。このことを、あなたからの何にも勝る賜物として、心から感謝するものであります。主が弟子たちを人里離れた場所で迎わせられたように、今、わたし共もここで慰ませてくださることを信じて喜ぶことができますように。

しかも、あなたはわたし共をいつものように集めながら、そのままで帰らせることをなさいません。新しい心を与えてくださいます。古い心と新しい心をつつかり取り替えるようにしてください。わたし共の心の中にあり、わたし共を腐らせてしまっている罪の心を取り除いてくださり、神の子として祈りと愛とに生きる命を注いでくださるのです。そのあなたのみわざをしつかりと受けとめることができますように。わたし共になし得る限りの

悔い改めと自らを吟味する心を、今、新しくすることができるよう。そして、開かれた心でみ言葉を聞かせてください。それを受けとめさせてください。信じさせてください。新しく信じて生きる喜びを知ることができまうように。そして、お互いのために祈ることを新しく学ばせてください。この国のために祈ることを学ばせてください。

御言葉を新しく聞かせてください。新しい命の御霊を注いでくださいますように。病める者に、悩みの中にあられます者に、年老を受けています者の上に、年若き者に、年若い者に、どうぞそれぞれにふさわしい助けを与えてください。

わたし共の罪の深いことを改めて思ひます。わたし共の頑なな罪の咎を御子が打ち砕いてくださり、今も打ち砕いてくださっていることを、幼な子のように信じて受け入れることができまうように。主の言葉に自らが打たれることを、信仰をもって受け入れることができますように。砕かれた悔いた心を御前に献げることこそ、あなたの喜ばれることであるのだと信じさせてください。そしてどうぞ、そこから生まれる真の自由に羽ばたかんとすることができますように。主はわたし共をすでに赦していただきます。「義と愛に生きるように」と勵ましていただきますのであります。

主イエス・キリストの御名によって、感謝し、祈り願います。アーメン

(加藤常昭「み前にそそぐ祈り」より)

今日のお知らせ

○第一礼拝後、教会学校と並行してロビーでのコーヒーサービスと、国舎二階リズム室では、「ぶどうの会」が開かれます。どうぞご参加ください。

○第二礼拝後、ホールで、讃美と報告の会をします。その後、久しぶりに愛餐会で昼食を一緒にします。今日のメニューは、キーマカレー、サラダ、フルーツ、お茶です。ご期待ください。

○今日午後二時半から、日本基督教団平塚教会で、北川一明牧師の就任式があり、古村牧師夫妻が出席します。そのため、第二礼拝後、牧師は不在になります。

○一九日(金)朝一時からシオンの会があります。ハイデルベルク信仰問答の問九、一〇、九五を学びます。新しい人を歓迎します。一緒に信仰の学びをしましょう。

○次の日程で、課題推進委員会と各部委員との間で、「慰めのコイノニアに向けた取組」に関する懇談会を開催します。各部委員におかれましては、ご都合の良い何れか1日にご出席願います。(両日とも出席することも出来ませんが同一内容の予定とし、九〇分程度の予定です。)

●開催日：五月、九日(金)午後七時から
ホールで開催、六月、一日(日)午後二時からホールで開催。

四国だより

早春の足音をかすかに聞きながら寒い二月を迎えております。温んで二月の牧会報告書をお送りいたします。

あるコンサートでご紹介した女性が教会を訪ねて下さいました。私共は市外に出ており留守中のごでしたが、後日電話にてその事を伺い、木曜日の午後のバイブルクラスにお招きしました。(第二木曜日が求道中の方の為のものです。)

若い日に聖書を読んだ事があり、ヨブ記の中から感じた忍耐と後の日に神様が下さる驚くべき祝福について、その当時に強く残りましたとの事。また、人間の心の内にある罪については、「このままではいけないと思いつつ辛い日々が流れておりました」と正直なお言葉に感動いたしました。この方との不思議な出会いにも驚きと喜びをもって主に感謝いたしました。素直なお心なので主が必ず良き成長をお与えすることと信じ感謝です。

教会学校の生徒の皆さんが二月からトーンチャイムの練習に入りました。演奏隊の名は「リトル・ティンカーベル」と決まりました。生徒の皆さんは大喜びで練習に励んでいます。楽譜の初見で難しさを感じたり失敗した時の先生方の

やさしいひとことに爆笑したりで、とても良い雰囲気が進められております。イエス様が世の終りには世界はこうなりますとの預言どおりに、今は世界中の情勢を考えますと、今までにない悪の形も複雑に変化し勢力を増しているようですが、私達は御言葉に信頼して、どんな時にも「主にある希望」によって主の御翼の中を守られる事を信じ喜び感謝して進んでまいりましょうと皆で祈りました。

あなたが火の中に行く時も炎はあなたの衣に燃えつくことはない。たとえあなたが水の中に行く時にも水があなたの頭を越えることはない。「礼拝後のティータムにこの御言葉の約束を皆で喜び、平安と喜びに輝いて教会から帰って行きました。日曜の朝の礼拝が楽しみですと口々に主を賛えておられ幸いな二月はこうして終わりました。

品川教会の皆様が十四年遠征でも親しみを覚えて下さって尊いとりなしのお祈りをしていただきますこと、主に在りて誠にうれしく心より感謝申し上げます。

二〇一七年二月二十八日

田端良忠

聖書の会へどうぞ

5月17日(水)

●朝の聖書の会(10時)

「賛美の歌を」

使徒16章22〜34節

黄允湜 副牧師

●聖書の夕べ(19時)

「見えるようになれ」

ルカ18章35〜43節

吉村和雄 牧師

ミニコンサート

5月25日(木) 12時30分

ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲

「ト長調 K423」他

ヴァイオリン 山本美樹子

次週礼拝

●第1礼拝(午前9時30分)

讃美歌みめぐみあふれる

やさしい目が

説教「神が共に住まわれる」

聖書ヨハネ14章23〜29節

説教者 吉村和雄 牧師

●第2礼拝(午前11時10分)

讃美歌156番 392番

詩編第115篇

説教「隣人とはだれですか」

聖書ルカ10章25〜37節

説教者 三中孝哲 牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 みめぐみあふれる

やさしい目が

説教 「互いに愛し合うならば」

聖書 ヨハネ13章31～35節 (新約P195)

司式 山名隆史兄

説教者 黄允湜 副牧師 聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲「アングンテ・レリオーン」F.メンデルズゾーン

○ 讃美歌 21 127番(1,2)

1. み恵みあふれる 主をほめたたえよ
み業を忘れず 賛美をささげよ
主に求める時 主は答えられる 慰めをもって
2. 求める人には 主は耳傾け
畏れる人には み守り与える
主を仰ぐ人は 苦難の中にも喜びを歌う
3. 味わい見つめよ、主の深い恵み
とこしえの代まで 変わらぬ憐れみ
みもとに身を寄せ 畏れる人には
欠けるものはない

アーメン

○ ピアノによる讃美

「ハレルヤ、主に感謝」 プレイズより

○ やさしい目が

1. やさしい目が きよらかなめが
きょうもわたしを みていてくださる
「まっすぐにあるきなさい」とみていてくださる
2. おおきなてが あたかいたてが
きょうもわたしを ささえてくださる
「はなれずにあるきなさい」とささえてくださる
3. かぎりのない ひろいところが
きょうもわたしをまもってくださる
「やすらかにあるきなさい」とまもってくださる

聖餐曲「アダージョ」G.メンデル

後奏曲「いざやともに」H.V.ヴァグナー

第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 148番 338番

詩編 第115篇 (旧約P955)

説教 「心からの献げ物を」

聖書 『コリント9章1～9節 (新約P335)』

司式 山名隆史兄

説教者 聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲「前奏曲」D.ブクステフーデ

○ 讃美歌 148番

○ バリトンによる讃美

「主はよみがえりましぬ」 12世紀讃美歌

死の鎖を ときはなちて
救い主イエスこそ よみがえりましぬ

よみがえりなくば なお死せる身を
死に勝ちし主は 生かしたたまえり
主よ、あわれみたまえや

死の鎖を ときはなてる
救いの主をぞ 我らほめたたえん
ハレルヤ ハレルヤ

○ 聖歌隊による讃美

「主は勝たれた」 B.J.3-4

何も起きないように 敵は勝ち誇るように
闇暗く見える今 彼は死に勝たれた

悲しみに立ちつくし 助けは望めないように
闇深く 見える今 彼は死に勝たれた 勝たれた

灰より再び 燃え出る火のように
贖いの力もて 主は我らをも立たせたもう

祈りは聞かれないように
望みは空しいように 見える時にこそ
主は顔を示して 勝利を得させたもう

○ 讃美歌 338番

聖餐曲「オッフエルトワール」C.ヴォーンズ

後奏曲「いざやともに」H.V.ヴァグナー

※礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お持ちください。